

基本情報						
教科・科目		高3・数学C 理系基礎		・授業で使用するもの ・数学C Standard(東京書籍) ・ノート ・iPad		
担当者		時國 雅史				
評価割合(試験:試験外)		試験:6割 試験外:4割		試験は、単元目標および＜知技、思判表、主体＞の3観点に沿って出題する。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)		具体的な事柄や事象についてモデル化する、一般化する、批判的に捉えるなど、事象を数学的に解釈し、数学的に表現、処理する力を培う。また、多様な事象を数学的に表現・処理するために必要な式の計算の仕組みや関数、図形の性質等についての理解を深める。		
		理知(思考力・判断力・表現力等)		直観や論理的な思考をもとに、事象を定義化したり定理を導いたりしながら課題の解決を図るとともに、多様な考え方について論理的整合性について議論し、その正誤について知的なコミュニケーションを通して受け入れることができる。		
		探求・叡智(主体的に学習に取り組む態度)		社会での数学の役割に気づく、数学的な思考のよさを実感することを通して、数学の学習の意義を高めながら、自身で課題設定を行い、主体的に学習する態度を養う。		
学習情報						
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	6	二次曲線の定義・性質を数式で表現することができる	・二次曲線の基本的な定義や性質を理解し、表現することができる。	・言葉と図形の両面から考えた二次曲線の定義 ・Geogebraを活用して二次曲線を描く ・与えられた二次曲線の方程式から焦点や準線を求める ・与えられた二次曲線の情報から方程式を求める ・二次曲線の現実場面への応用例	・講義 ・プリント演習 ・Webアプリの活用	・講義への応答 ・授業内プリントへの取組 ・授業開始時の復習プリント
5	9	二次曲線の問題を二次関数の問題に帰着させることができる 様々な曲線を媒介変数を用いて表現することができる	・二次曲線の性質を、二次方程式・二次関数の問題に帰着させることができる。 ・二次曲線の性質を、方程式の形式的な操作によって証明することができる。 ・極座標表示を用いることで特に二次曲線を表す方程式を容易に表すことができることを理解する。 ・媒介変数表示により様々な曲線を表すことができることを理解する。	・式の連立から二次方程式への帰着 ・二次曲線の性質を式で捉える ・媒介変数表示からグラフをイメージする	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組 ・授業開始時の復習プリント
6	定期試験① 令和8年 6月3日―6月5日) 二次曲線・媒介変数表示と極座標					
6 7	17	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの基本的な知識を復習し、いつでも活用できる状態になる。	・教科書レベルの入試問題演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
7	定期試験② 令和8年 7月15日―7月17日 範囲)					
8	-					
9 10	17	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの、入試問題に必要な実践的な思考力を演習で学び、いつでも活用できる状態になる。	・教科書応用問題レベルの入試問題演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
10	定期試験③ 令和8年 10月21日―10月23日 範囲)					
11 12	12	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの分野に関する実際の入試問題に対応できるようになる。	・実際の入試問題に関する演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
12	定期試験④ 令和8年 12月9日―12月11日 範囲)					